

問1-2 くらしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、くらしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

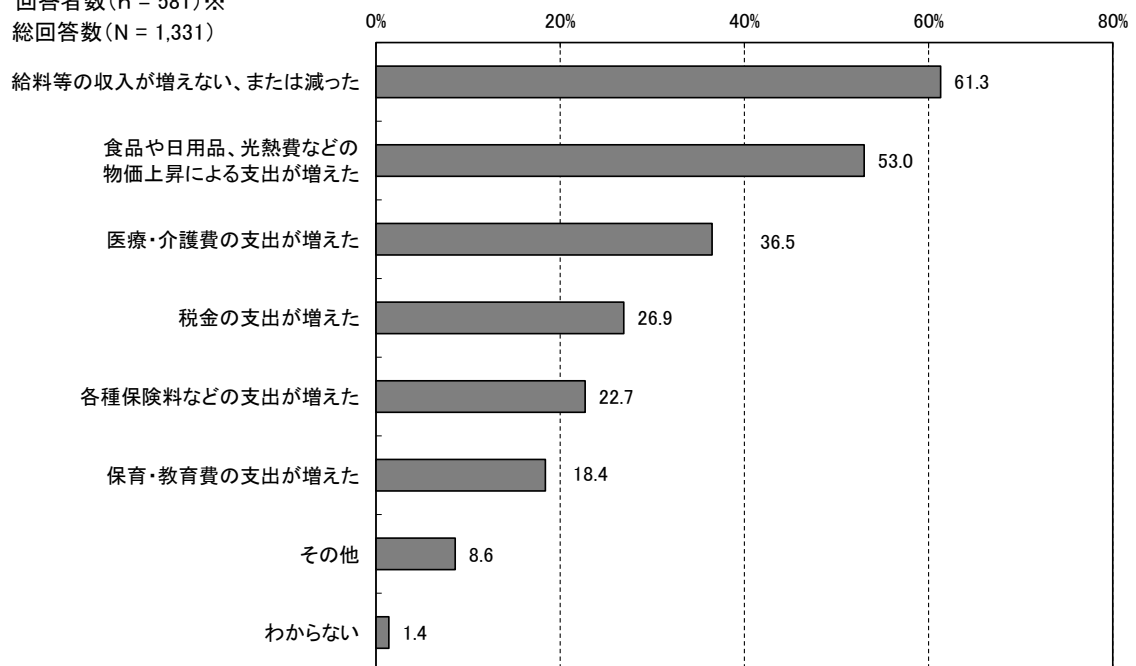
(3つまで)

全体(図1-2-1)でみると、「給料等の収入が増えない、または減った」が61.3%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(53.0%)、「医療・介護費の支出が増えた」(36.5%)の順となっている。

図1-2-1 くらしが苦しくなったと感じる理由

回答者数(n = 581)※

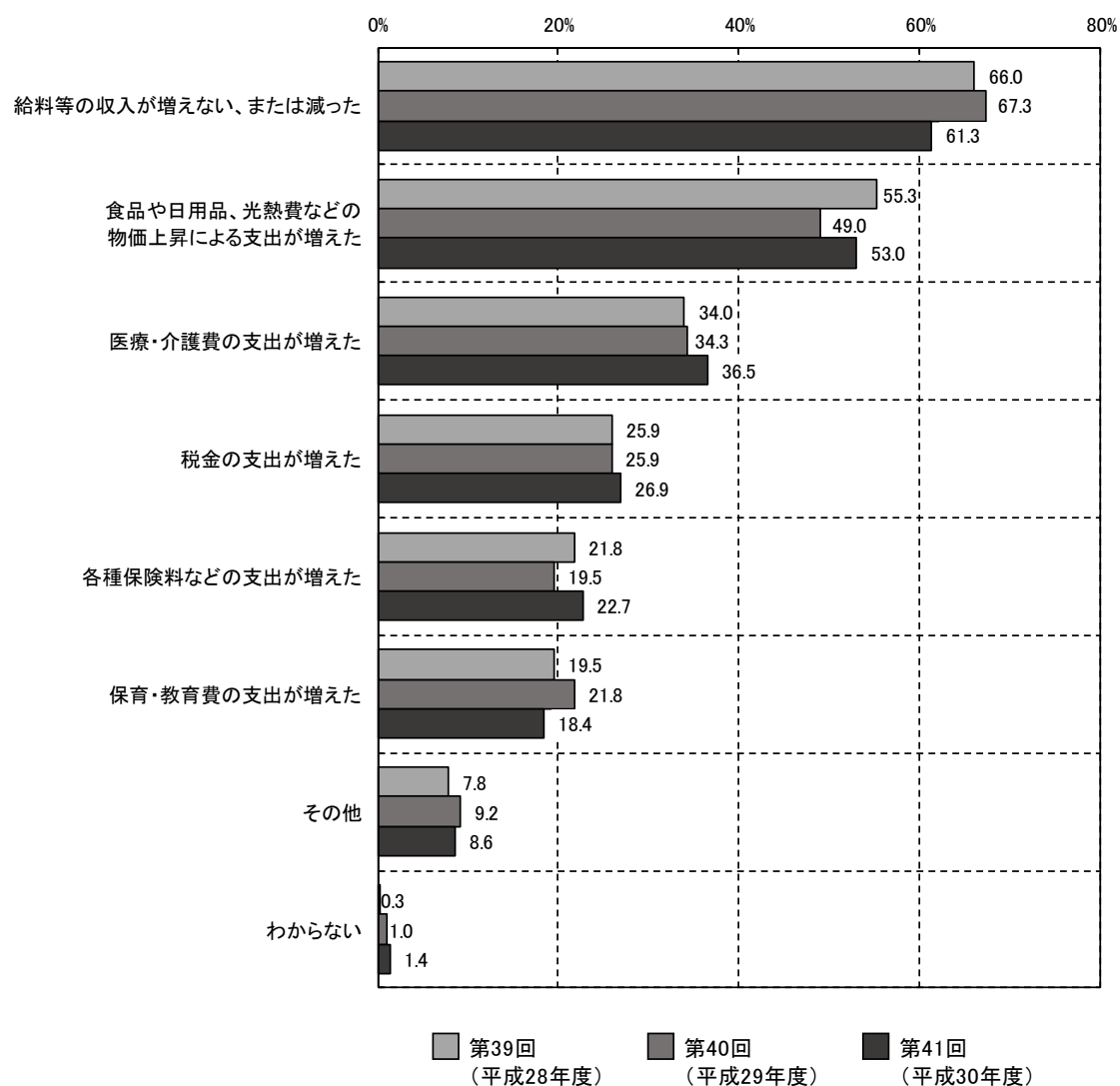
総回答数(N = 1,331)



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

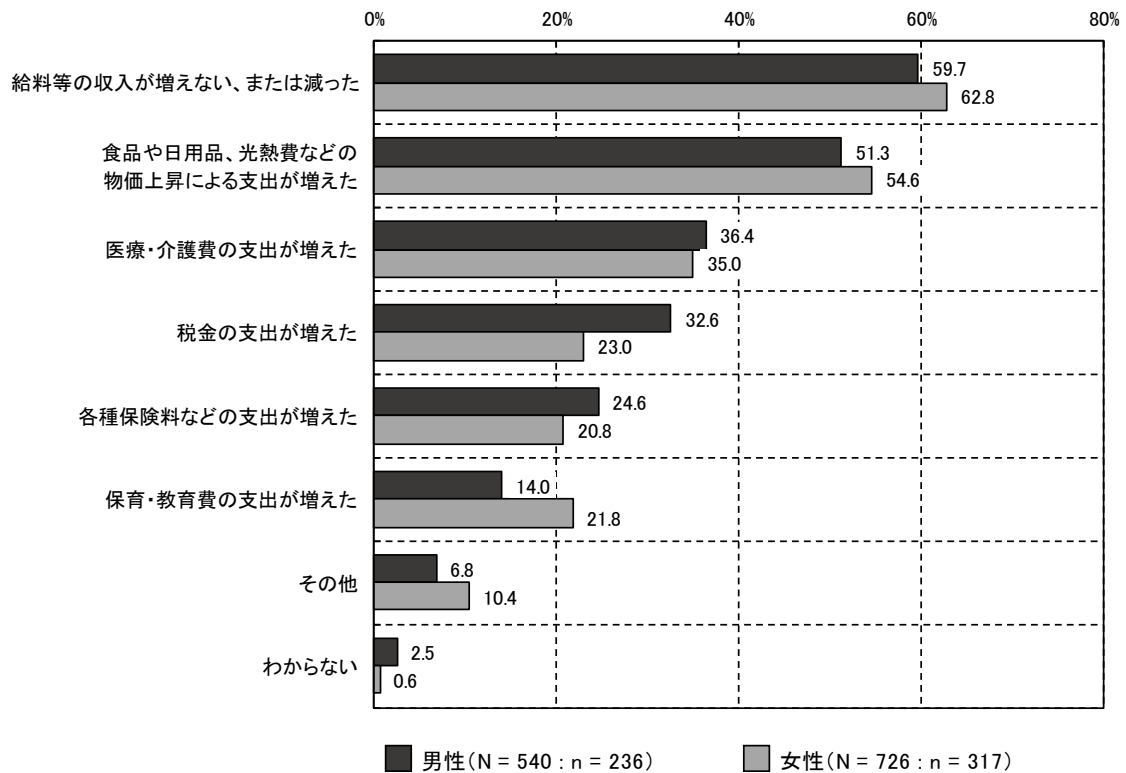
前々回・前回比較（図 1-2-2）でみると、「医療・介護費の支出が増えた」は年々高くなっており、前回と比べても 2.2 ポイント増加している。「給料等の収入が増えない、または減った」は前回に比べて 6 ポイント減少している。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】くらしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）でみると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高くなっており、女性が男性より 3.1 ポイント高くなっている。

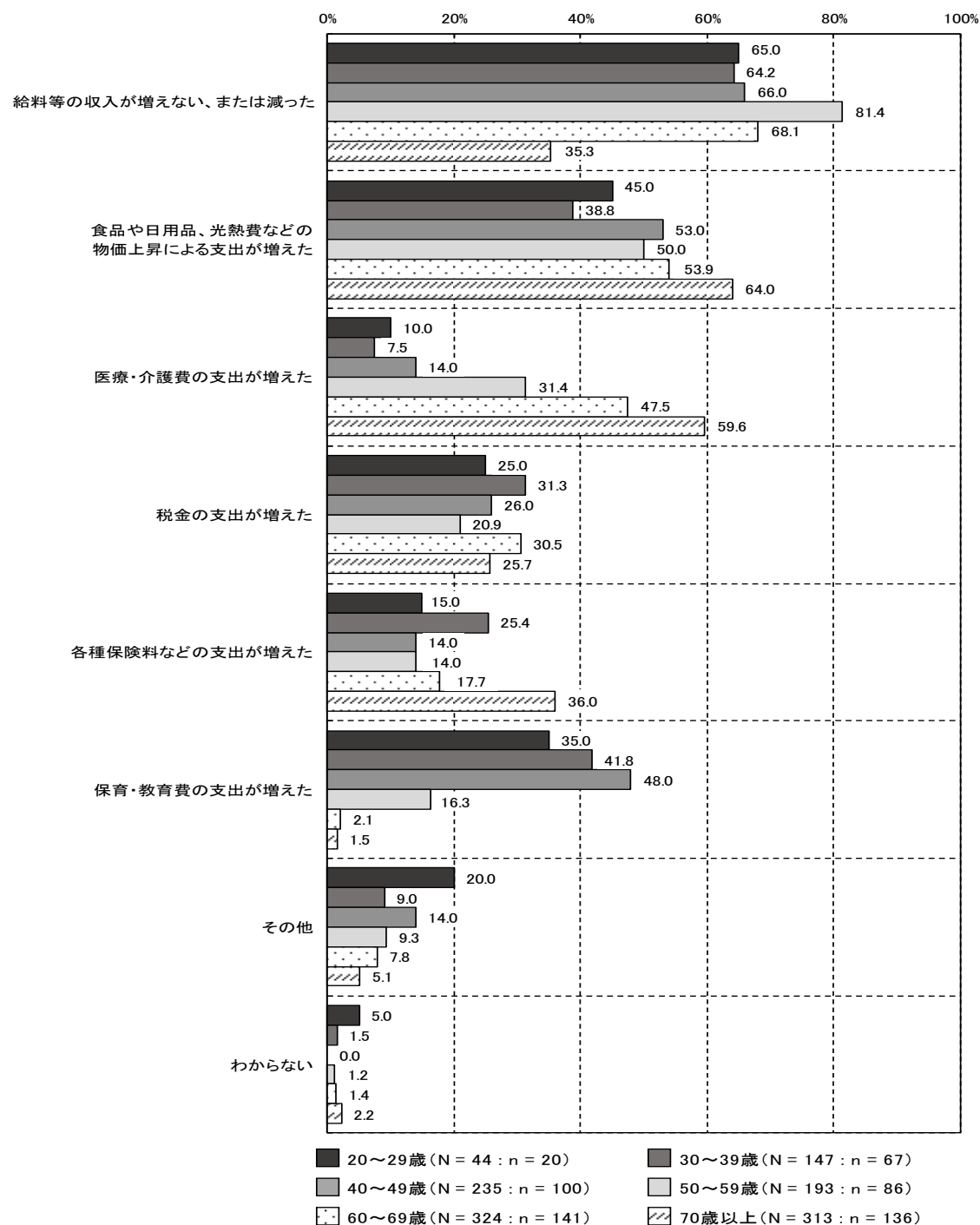
図 1-2-3 【性別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N＝総回答数 n＝回答者数

年代別（図 1-2-4）でみると、70 歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち 50 歳代が 81.4%と最も高くなっている。70 歳以上では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 64.0%と最も高くなっている。

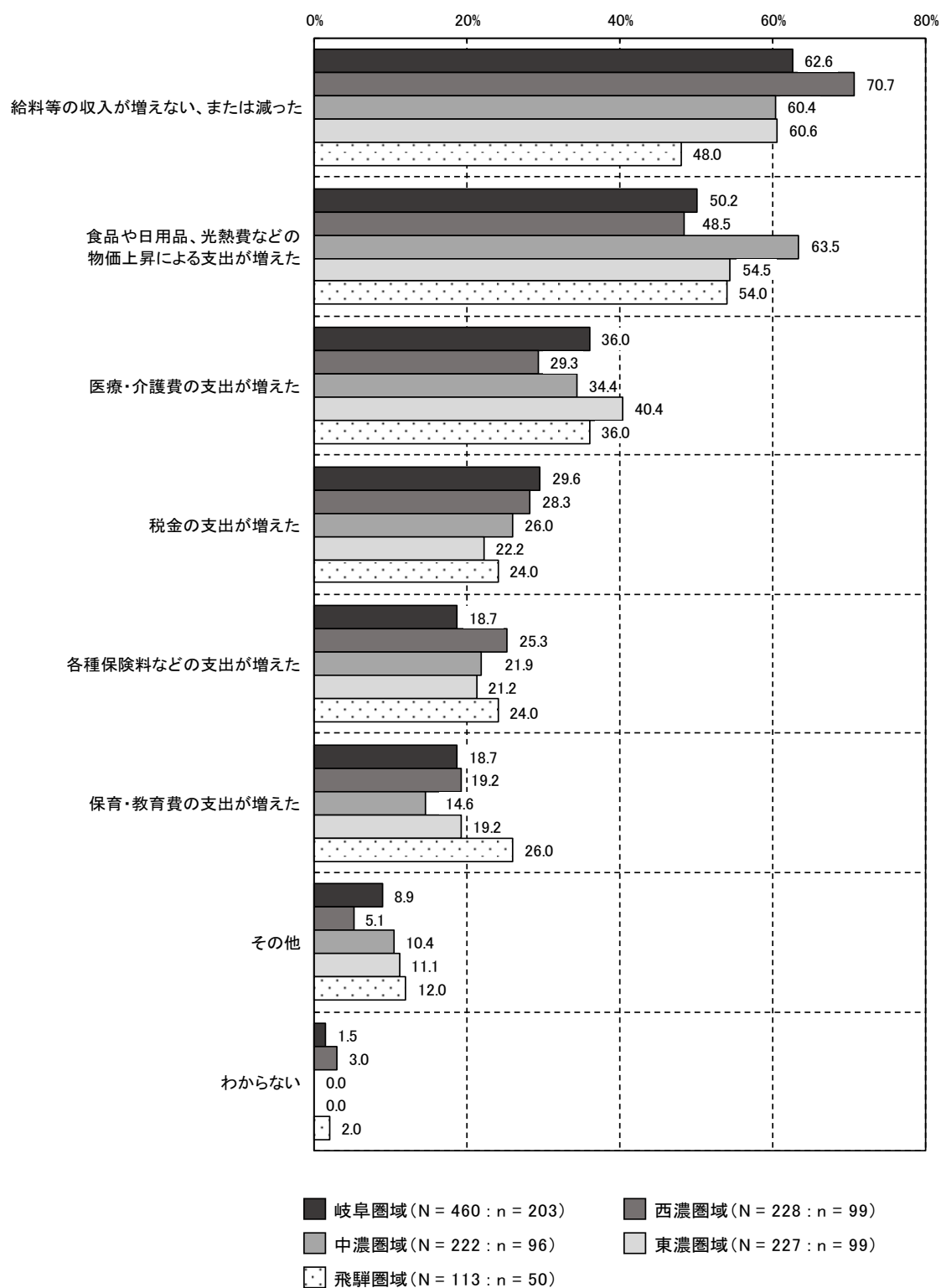
図 1-2-4 【年代別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）でみると、岐阜圏域、西濃圏域、東濃圏域において「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち西濃圏域が 70.7%と最も高くなっている。中濃圏域と飛騨圏域では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が最も高く、そのうち中濃圏域が 63.5%と最も高くなっている。

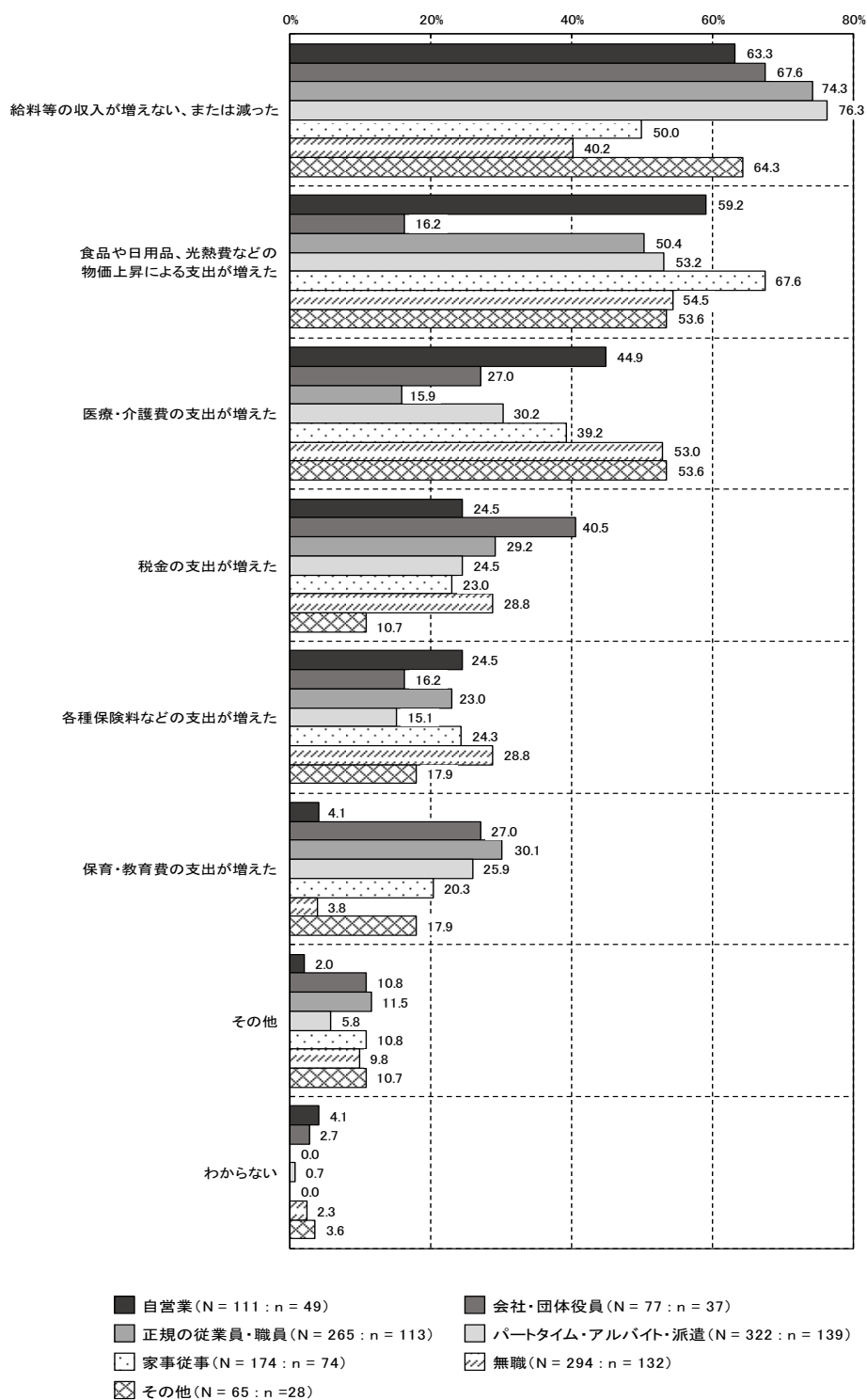
図 1-2-5 【居住圏域別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）でみると、家事従事と無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうちパートタイム・アルバイト・派遣が76.3%と最も高くなっている。家事従事と無職では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が家事従事（67.6%）、無職（54.5%）とそれぞれ最も高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



※ その他には、自由業、学生を含む

※ N=総回答数 n=回答者数